

第2章 接続について

ここでは本製品をパソコン本体に内蔵する手順を説明しますが、これは販売店の方が作業を行なうときのためのものです。

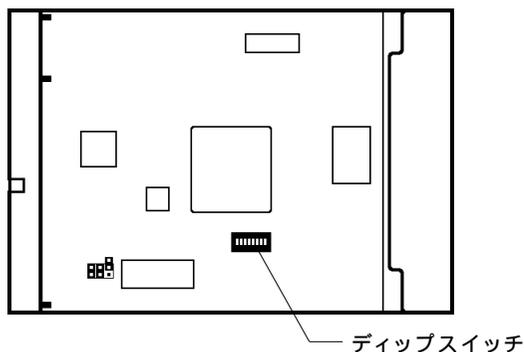
Macintoshシリーズではユーザーが自分でパソコン本体のカバーを開いてドライブなどの交換を行なうと、パソコン本体の保証を受けられなくなります。そのため、本製品の接続作業はお買い求めになった販売店にご依頼ください。

2.1 接続の前に

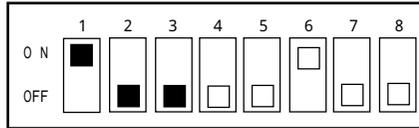
SCSI IDナンバーの設定

本製品を接続する前に、本製品のSCSI IDナンバーを確認 / 設定してください。この設定は本製品天面のディップスイッチで行ないます。

本製品は出荷時設定でIDナンバー「4」に設定されていますので、本製品と同じSCSIバスに接続する外付け / 内蔵のSCSI機器でこれと重複するものがある場合は、設定を変更してください。



ディップスイッチの出荷時設定



IDナンバーの設定

ID 0	ID 1	ID 2	ID 3																								
<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr></table>	1	2	3	■	■	■	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>■</td><td>■</td><td>□</td></tr></table>	1	2	3	■	■	□	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr></table>	1	2	3	■	■	■	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr></table>	1	2	3	■	■	■
1	2	3																									
■	■	■																									
1	2	3																									
■	■	□																									
1	2	3																									
■	■	■																									
1	2	3																									
■	■	■																									
ID 4	ID 5	ID 6																									
<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr></table>	1	2	3	■	■	■	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr></table>	1	2	3	■	■	■	<table border="1"><tr><td>1</td><td>2</td><td>3</td></tr><tr><td>■</td><td>■</td><td>■</td></tr></table>	1	2	3	■	■	■							
1	2	3																									
■	■	■																									
1	2	3																									
■	■	■																									
1	2	3																									
■	■	■																									

(出荷時設定)



ご注意

・内蔵SCSI機器を持つMacintoshシリーズでは、IDナンバー0は内蔵ハードディスクが、IDナンバー3は内蔵CD-ROMユニットが、IDナンバー5は内蔵Zipドライブが使用します。同一SCSIバスに接続する場合、本製品はこれらの番号に設定しないでください。

・IDナンバーの設定以外のディップスイッチは、出荷時設定のまま変更しないでください。

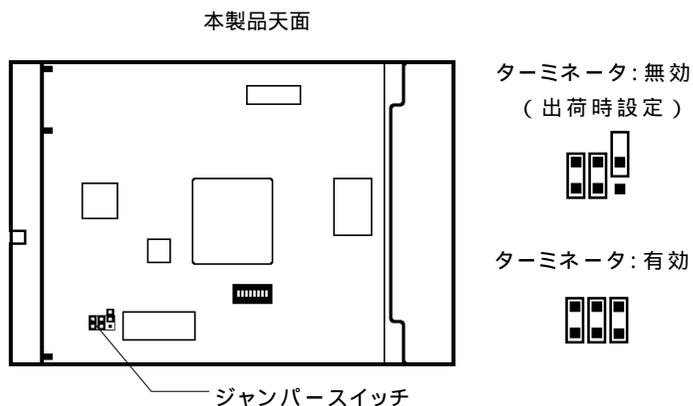
2.1 接続の前に

ターミネータについて

SCSIでは接続の終端となる機器のターミネータを有効にしなければなりません。本製品はターミネータを内蔵し、ジャンパースイッチで有効/無効を切り替えられますが、出荷時は「無効」に設定されています。

もし、本製品をSCSIバスの終端(内部フラットケーブルの先端)に接続する場合は、下図にしたがってターミネータを有効に設定してください。このように設定した場合、同一SCSIバスに接続されたその他の内蔵SCSI機器はターミネータを無効に設定する必要があります。設定方法についてはそれぞれの内蔵SCSI機器の取扱説明書をご参照ください。

また、本製品を終端以外の位置(内部フラットケーブルの中間のコネクタ)に接続する場合は、出荷時設定通りターミネータ無効でご使用ください。



ご注意

内蔵ターミネータの設定以外のジャンパースイッチは、初期設定のまま変更しないでください。